

GAP の手法を活用して経営改善をしよう！

～市原市水稻部を対象とした視察研修会の開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和7年12月3日発

市原市では水稻農家の離農に伴い、大規模水稻農家への農地集積が急速に進む中、労働力の確保が喫緊の課題となっています。そこで当農業事務所では、雇用導入に向けて GAP の手法を活用した労務管理等の実践方法を学ぶため、11月13日に視察研修を開催し、水稻農家17名の参加がありました。JGAP に取り組まれている新潟県十日町市の大規模水稻経営体、株式会社千手^{せんじゅ}の視察では、代表から「GAP の手法により改善を重ねることで労務管理体制が整う。また、従業員にも会社の理念やルール等を理解してもらいやすい。」と講義を受けました。

参加者からは「従業員にも分かるように道具を置く場所の掲示等、できるところから実践したい」、「雇用導入の際は GAP の考え方を取り入れたい」といった感想が聞かれました。今後も当農業事務所では、大規模水稻農家の農業経営改善を支援していきます。



GAP の取組みについての講義



道具の保管場所の掲示物の紹介